

和歌山県のこと

海・山・川など豊かな自然に恵まれた和歌山県は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の歴史文化をはじめ、グルメや温泉、そしてジャイアントパンダの大家族(7頭)が暮らすレジャー施設など一年を通して観光が楽しめます。



【発行】和歌山県 農林水産部 森林・林業局 森林整備課 緑化推進班
 〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通 1-1 TEL.073-441-2973 FAX.073-432-5850
 ✉ kig-mori@pref.wakayama.lg.jp
 企業の森サイト https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/070700/kig_mori/kig_mori.html

2021 (令和3)年11月1日発行



企業と地域を結ぶ情報誌



Corporate Social Responsibility

WAKAYAMA

未来へつなぐのは
 木肌の温もりと
 慈しみの心。

- 企業の森 Topics**
「企業の森」に新たな参画企業
- CSR Report**
「企業の森」参画企業・団体の社会貢献活動
- 和歌山県の関連政策紹介**
オフィスの森・道普請・企業のふるさと 他



Corporate Social Responsibility

企業・団体の皆さまと、県・市町村がともに森づくりを進める

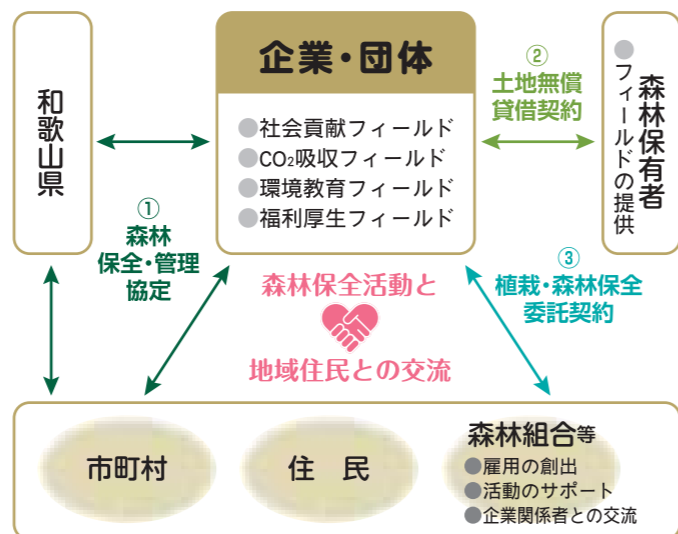
企業の森

「企業の森」とは、企業や労働組合(団体)などの皆さまにCSR(企業の社会的責任)や社会・環境貢献活動、地域との交流活動の一環として、和歌山県内の森林環境保全に様々なカタチで取り組んでいただく事業の総称です。

和歌山県では全国に先駆け2002(平成14)年から独自の仕組みを用いた「企業の森」を実施し、これまでたくさんの森が育ってきました。

これからも地球の明るい未来のため、「企業の森」を私たちの手でつなげていきます。

●現在の「企業の森」候補地は右ページ。



「企業の森」候補地

2021(令和3)年10月現在

1
紀の川市
中津川
民有林 1.15ha
間伐

2
かつらぎ町
上天野
民有林 2.5ha
除間伐

3
田辺市
龍神村殿原
民有林 1.0ha
植栽、下草刈り

4
新宮市
新宮
民有林 1.5ha
植栽、下草刈り

5
那智勝浦町
南平野
民有林 1.0ha
植栽、下草刈り

6
串本町
田並
民有林 0.4ha
植栽、下草刈り

7
古座川町
佐田
民有林 0.4ha
植栽、下草刈り

高野山 根本大塔

高野山 奥之院

世界遺産「高野山」は心が洗われます。

白良浜(白浜町)

南国リゾート

水の勢いが大迫力!

瀧の拝(古座川町)

本州最南端の潮岬は絶景!

潮岬(串本町)

落差日本一の那智の滝!

那智の滝(那智勝浦町)

TOPICS

新たに2社が参画。
参画団体数は85企業・団体に、活動箇所は98箇所になりました。

2箇所目

新規

南海スチール株式会社 「ふるさと感謝の森」

実施地

田辺市 中辺路町 小松原 字 柿木 地内
0.70ha

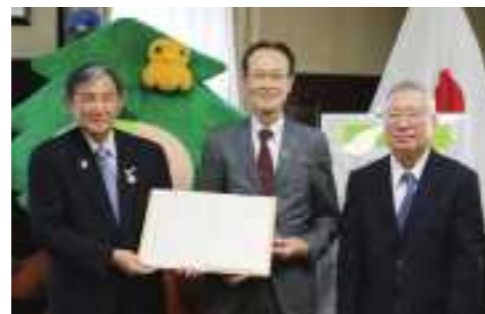


和歌山に本社を置き、住宅基礎ユニット鉄筋を主体に、製造販売を行っている南海スチール株式会社。

剤盛堂薬品株式会社 「ホノミの森」

実施地

橋本市 清水 字 東ノ谷 地内 他
7.59ha



和歌山に本社を置き、医薬品(漢方薬)の製造販売を行っている剤盛堂薬品株式会社。

●「企業の森」候補地についてのお問い合わせは和歌山県森林整備課まで。



CSR Report

昨年度に引き続き、2021(令和3)年度も新型コロナウイルスの影響で森林保全活動が満足にできない状態を余儀なくされました。しかし、このような状況でも森林は日々成長し、私たちに勇気と希望を与えてくれています。また、森林保全活動以外のCSR活動もレポートしていただきました。

企業-2



日本たばこ産業株式会社 Rethink PROJECT オンライン配信に挑戦! 「JTの森 中辺路」

JTグループは様々な社会貢献活動に取り組んでいます。また、社会に存在する様々な価値観を認め合うために、視点を変えて物事を考えること「Rethink(リシンク)」が大切であると考えています。コロナ禍で迎える17年目の企業の森活動は中止を検討せざるを得ない状況の中、私達は「Rethink」した結果、感染防止策を徹底し、森と自宅を繋ぐオンライン配信に挑戦しました。保全活動を学び、旧交を温め、紀州材に触れ、名産品を味わうなど、様々なコンテンツを現地から配信しました。私達は、今後も様々な形で森を育て守る活動を継続していきます。

企業-13・53



株式会社NTN紀南製作所 半葉「和」の森(第二期)保全活動 5年目に突入!

NTN紀南製作所では、環境保全活動として2006(平成18)年より「企業の森」事業に参画し、森林の環境保全活動を通して地球温暖化対策の推進に取り組んでいます。例年ですと11月に従業員とその家族が参加して、植樹した苗木を傷めないように下草刈りを実施しますが、新型コロナウイルスの影響で中止となり、森林組合の職員さんによる下草刈りを行いました。これからも環境保全活動を通して、地域の発展に貢献してまいります。

企業-14・52



花王株式会社 和歌山工場 「花王の森 おいしい」保全活動5年目

2018(平成30)年にウリハダカエデやカヤなど約70本を植樹しましたが、根付かなかったところに2020(令和2)年11月7日補植を行いました。活動地から1kmほどのところに有田川町の生石神社があります。その境内の山林にあるアカガシ(写真左)のどんぐりから育てた苗木10本(写真中央)と、紀美野町の社有地で採取したコナラやモミジの苗木10本を植えました。また、背丈の低い苗木を雑草や野生動物から守るべく、苗木に保護材を巻きました。半年以上経ちましたが保護材に守られて苗木は元気に育っています。一方で、「花王の森 おいしい」を起点に、地元NPO団体といっしょに周辺の生態調査も始めています。

企業-9・48



紀陽銀行 金銭基礎教育プログラム 「MoneyConnection®」の開催

紀陽銀行は、特定非営利活動法人キャリア・ファシリテーター協会と協力し、高校生を対象に働くこととお金、将来について考える機会を提供する金銭基礎教育プログラム「MoneyConnection®」(マネーコネクション®)を実施しています。2020(令和2)年度は和歌山県内の高校19校に対して実施し、参加人数は1,952名となりました。当行は今後も若年層の金融教育に積極的に取り組んでまいります。

企業-11・46



積水ハウス株式会社 「積水ハウスの森」第2期

2016(平成28)年より場所を田辺市中辺路町近露にある世界遺産・熊野古道の近くに移し、森林保全活動に取り組んでいます。多くの生きものが利用できる地域の在来樹種を植え、多様性のある森を作ることは、当社の「5本の樹」計画の考えにも通じる活動です。今後も、年2回(春・秋)和歌山県、中辺路町森林組合の皆さまのご協力とご指導をいただきながら、保全活動を続けてまいります。

企業-20・56



株式会社浅川組 人と環境のハーモニー 「紀美野 あさかわの森」下草刈り活動

浅川組では、2018(平成30)年より開始した「紀美野 あさかわの森」活動を通して森林保全活動に取り組んでいます。2020(令和2)年度は、新型コロナウイルス対策をとったうえで10月に3度目となる下草刈りを実施しました。昨年は背丈と同じほどだった苗木も見上げるほどに生育しており、取り組みの成果を確認しました。今後も和歌山県・紀美野町・和歌山森林組合・地域の皆様のご支援をいただきながら、植栽・下草刈りを行い森林保全活動を続けてまいります。

企業-26・63



株式会社 富士住建 「富士住建の森」

紀州檜材を構造に用いた家をご提供していることから、企業の森に参画しました。今年で13年目を迎えます。コロナ禍の影響で、現地での活動はしばらく行えていませんが、近いうちに現地での活動できることを願い、本社でも紀州檜の苗を大切に育てています。今後も和歌山県、田辺市、中辺路町森林組合のご協力を賜りながら、森林保全活動に取り組んでまいります。

企業-36・66



南海スチール株式会社

「10年あゆみの森」8年目

当社では、和歌山県が推進する「企業の森」事業に参画し、「10年あゆみの森」と名づけ8年目を迎えました。

近年、紀伊半島では水害をはじめ、災害の大きさは過去の予想をはるかに超えた甚大な災害になっています。

コロナ禍の中、活動に制限がありますが、微力ながらこの事業を通じ、少しでも災害防止に役立てるよう、森林保全活動に取り組んでまいります。

企業-60



フジ住宅株式会社

「フジ住宅の森」森林保全活動

2019(平成31)年4月より活動を開始し、2回目となった昨年秋の植樹活動では、初年度に植樹した苗が1m以上伸びていて、少しずつ森へと育っていくのかと楽しみになりました。

紀中森林組合のご協力をいただき、日高川町の間伐材を使った桧のベンチを弊社のオフィス3か所に設置させていただきました。

木材を使う住宅会社として、環境保全、地域の発展に貢献してまいります。

労働組合-2



関西電力労働組合 和歌山地区本部

「関労和歌山いこいの森」

関西電力労働組合 和歌山地区本部では、2020(令和2)年11月に「関労和歌山いこいの森」において、下草刈り等の活動を実施しました。

コロナ禍での活動に際し、感染予防対策をしっかりと行い、参加者をはじめ地元の方々の協力のもとで、本活動を行えたことに感謝するとともに、引き続き本宮町の自然環境保全活動等に取り組んで参ります。

その他団体-7



JA共済連和歌山

「JA共済 絆の森」で未来につながる森づくりを行っています

JA共済では地域貢献活動の一環として「企業の森」事業に参画しています。毎年全職員で行なっている下草刈りですが、2021(令和3)年度は昨年に引き続き、新型コロナウイルス感染防止のため中止となりました。2018(平成30)年度に補植した苗木の成長を楽しみに、今後も未来につながる森づくりに取り組んでいきます。

企業-64



ビーウィズ株式会社

新たな取り組みを開始!

森林保全活動を自粛せざるをえない中、新たなCSR活動として、衣料寄付活動を開始しました。

従業員から寄付された衣料品は、NPO法人日本救援衣料センター(JRCC)を通じて、発展途上国へお届けしています。衣料品の回収や発送の作業は、障がいを持つ従業員が担当しており、障がい者の雇用創出への取り組みにも繋がる本活動を、今後も継続してまいります。

労働組合-1



ユニチカ労働組合

『ユニチカの森』を通じて森づくり・仲間づくりを!

労働組合結成30周年記念事業として、2003(平成15)年より活動を始めた「緑のプラン」も18年目を迎え、『ユニチカの森』は立派な森へと成長しています。これまでに500名を超える組合員が森林保全を通じて社会貢献に取り組んでいます。

現在は新型コロナウイルスの影響で活動を見合わせていますが、今後も息の長い活動として継続してまいります。

その他団体-10・21・24



わかやま市民生活協同組合

暮らしの中の環境活動

SDGsの「13・気候変動に具体的な対策を」の取り組みとして、県下の組合員に呼びかけ「1日エコライフ」を行なっています。1998(平成10)年より夏と冬の年2回、家族で決めた1日をエコライフデーとし、チャレンジ項目に取り組んだ家庭の人数やCO₂削減量の結果を収集しています。2020(令和2)年度は、のべ15,132人が参加し、約2,788kgのCO₂削減(ブナの本約255本分に相当)ができました。参加者からは「野菜で旬の物を食べるだけでCO₂が減らせると思わなかった」「毎日の小さなエコライフで『ブナの木何本分』と見える化すると励みになります」等、この取り組みを通じて暮らしを見直すきっかけになっています。

企業が育てる明日の森 



植栽(しょくさい)
苗木の植え付けを行います。



下草刈り(したくさかり)
若い苗木の成長を妨げる雑草の刈り払い作業を行います。



枝打ち(えだうち)
下の方の枝を切り落とす作業です。風で木々が擦れて樹皮が傷つくのを防ぎます。



間伐(かんばつ)
森林の生育環境を良くするため、余分な木を間引く作業です。

『オフィスの森』 はじめませんか

木材利用をテーマにした環境保全の取り組み



まちなかにある木造建築は

「都市の森林」や「第二の森林」ともいわれています。

それは、森林で育てられていた頃と同様に

木材が“炭素の固定”という機能を発揮するからです。

『オフィスの森』は、およそ森林とかけ離れたオフィスに

木材を使用したベンチやペン入れなどを設置する取り組みです。

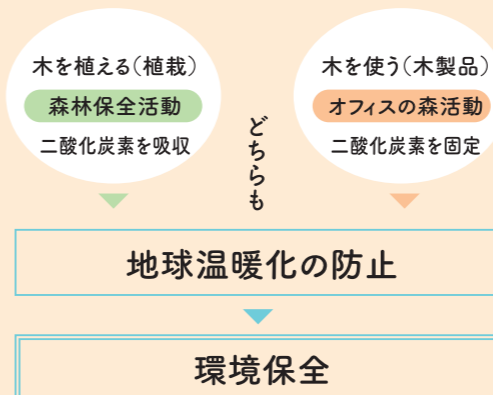
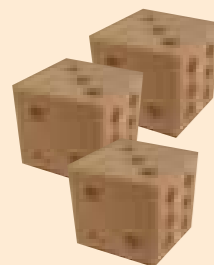
森林保全活動がままならない状況が続いている今、

『オフィスの森』活動を取り入れてみませんか。

オフィスにいながらにして

木肌の温かさや香りを感じることができます。

例えば
ペン立て



環境保全という観点からみると

「木を使うこと」は

「木を植えること」と

同じ効果を発揮することになります。

しかも、その効果は

木製品が廃棄(燃やされる)まで継続されます。

「オフィスの森」取り組みのながれ



1 オフィス内で使用できるような木製テーブルやイス・ベンチ等のサイズやデザインを社内で話し合ってください。



2 サイズやデザインを基に委託された県内企業などが一次加工(製材、仮の組み立て)を行います。

作業中もいい香り!



工具を使うので力がなくても大丈夫!



プロの指導のもとに安全に作業を進めます。

思い出づくりにも!

3 「企業の森」活動時に、二次加工(やすりがけ、塗装、ワックスがけなど)を行い、みんなで最終の組み立てをします。

二次加工や最終組立なども県内企業へ委託することができます。



親子で、あーでもないこーでもない…。



4 できあがり! オフィスで使用いただけます!

木の香りがするオフィスに!





企業による過疎集落応援活動

「企業のふるさと」

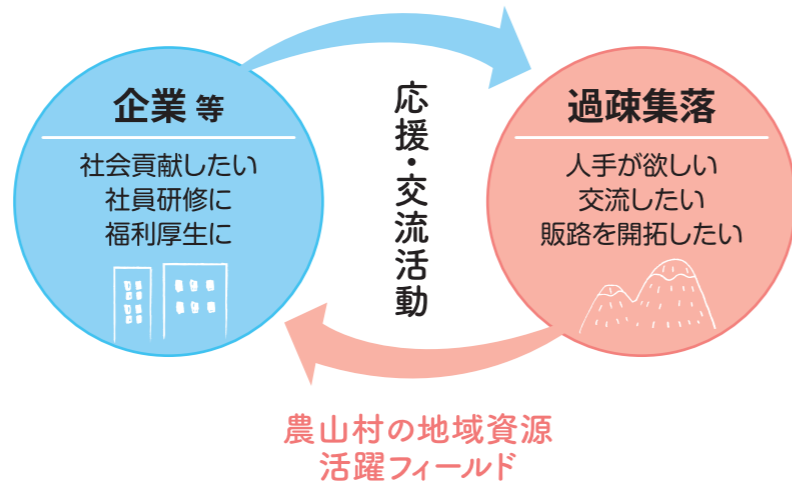
自然の中で日々の疲れを癒し、
温かい交流を築きませんか。

きれいな空気や豊かな自然、田舎らしいのんびりとした
雰囲気を味わえる美しい集落が和歌山県にはたくさんあ
ります。しかし人口減少や高齢化に悩まされているのが現
状です。

そこで、和歌山県では「集落を応援したい企業(団
体)」と「応援してほしい集落」をマッチングさせる過疎集
落応援活動「企業のふるさと」を実施しています。

例えば、地域のお祭りへ参加したり、田植えを手伝うな
ど田舎ならではの活動を通じ地域活性化を応援してい
だきます。地域の人たちと交流しながら温かいつながりを
築き、第二の「ふるさと」をつくりませんか。

労力、人材、技術、資金の提供
アイデア・ネットワーク



世代間交流も!



これまでの取り組み実績



笑顔いっぱい!

第1号 2009(平成21)年度～

実施地域 かつらぎ町天野地域
企業名等 伊藤忠商事株式会社
受入組織名 天野の里づくりの会



天野地域において、地域住民と伊藤忠商事株式会社の社員が多数参加し、手植えによる田植えや手刈りによる稲刈りの作業等を通じた協働・交流活動を行なっています。人手不足の解消や地域の活性化に繋がっています。

第2号 2010(平成22)年度～

実施地域 田辺市本宮町発心門地域
企業名等 関西電力労働組合
和歌山地区本部
受入組織名 NPO法人熊野本宮



関西電力労働組合 和歌山地区本部がNPO法人熊野本宮と発心門地区の住民と共に、手植えによる田植え作業を通して交流を図っています。幅広い年代層の方々が参加し、賑わいが生まれています。

第3号 2012(平成24)年度～

実施地域 橋本市西畑地域
企業名等 株式会社キセキ関西
受入組織名 くにぎ広場・農産物直売交流施設組合



くにぎ広場・農産物直売交流施設組合と株式会社キセキ関西及び井関農機株式会社社員が共に定植した「はたごんぼ」の収穫を通じた交流を図っています。

「はたごんぼ」とは…江戸時代から西畑地域の特産物として栽培されてきたゴボウで、太い・長い・柔らかい・香りが良いのが特徴。

第4号 2018(平成30)年度～

実施地域 紀の川市麻生津地域
企業名等 山崎製パン株式会社
受入組織名 麻生津の将来を考える会



山崎製パン株式会社の3工場(大阪第二工場、阪南工場、泉佐野営業所)の社員が、麻生津地区の盆踊りや運動会に参加するなど、地域の住民との親睦を深めるとともに賑わいを創出しています。



●お問い合わせ／和歌山県 移住定住推進課 定住推進班「企業のふるさと」担当

〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1 TEL.073-441-2426 FAX.073-441-2939 <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/022200/kifuru.html>

和歌山県

森林による二酸化炭素の吸収等 環境保全活動認証事業



活動の成果が
数字で
わかります!

「企業の森」の活動により吸収した二酸化炭素の量を算定するなど、参画企業の環境保全活動を評価・認証し、「企業の森」事業への参画を促すとともに、森林資源が豊富という本県の地域特性を活かした地球温暖化対策を推進する事業です。

認証した企業・団体には、「認証書」と紀州材で製作した記念の「認証プレート」を交付するとともに、環境問題に積極的に取り組む企業・団体として、広くPRさせていただきます。



紀州材で作られた認証プレート(見本)

これまでの認証実績

- 認証実績… 51企業・団体
- 面積… 127.52ha
- CO₂吸収量… 54,100トン-CO₂/100年
(100年間で見込まれる二酸化炭素吸収量)



「和歌山県地球温暖化対策条例」で排出抑制計画書の提出を義務付けられている事業者の方は、この事業により認証された吸収量を温室効果ガス排出量の算定に用いることができます。

●お問い合わせ／和歌山県環境生活総務課 TEL.073-441-2670 FAX.073-433-3590



ふるさと和歌山応援寄附



ふるさと和歌山応援寄附(ふるさと納税)によりお寄せいただいた寄附金を「大切なふるさとの森を守り育てる」取組に活用しています。

和歌山は古くから「木の国」と呼ばれ、県土の約77%が森林です。洪水・渇水の緩和や、生物多様性の保全、地球温暖化の防止等、限りない恵みを与えてくれる森林をこれからも守り育て、継承していくための取組です。



松くい虫防除対策として薬剤を地上散布の様子(煙樹ヶ浜・美浜町)



MEMO

煙樹ヶ浜に広がるクロマツの林は紀州藩初代藩主・徳川頼宣が防潮のために植えさせました。

ふるさと和歌山
応援サイト▶



●お問い合わせ／和歌山県税務課 TEL.073-441-2186 FAX.073-423-1192

参詣道保全活動 “道普請”

参加
企業・団体
募集

～世界遺産を次世代に継承するために～

熊野古道や高野山町石道をあなたの手で修復しませんか

世界遺産の文化を育んだ紀伊山地は、年間を通して雨量が多く、台風などの災害にもたびたび見舞われる地域であり、参詣道の土もしばしば流出します。こうした条件の中、世界遺産を良好な状態で次世代に引き継いでいくためには、多くの人々の理解と協力により、参詣道の継続的な保全活動(道普請)が必要です。

和歌山県では、企業や団体の皆様と連携し、参詣道の保全活動を実施しています。企業・団体のCSR活動や研修の一環として楽しみながら世界遺産の保全に取り組んでみませんか。



ベタベタ

世界遺産を守る大切な“道普請”

- 熊野古道などの参詣道の保全活動(土入れ・側溝清掃等)を行っていただくものです。
- 参詣道は「道」の世界遺産であるため、文化財担当者指導立ち会いのもと、どなたでも修復活動ができます。
- このような体験ができるのは、日本でここだけです!
- 2009(平成21)年度から企業等140団体、累計3万3千人以上の方に参加いただいています。

歩きやすく
助かります!



作業前



作業後!

日本で
ここだけ!
とっても
貴重な体験!



保全活動実施までのプロセス

- ①お申し込み**
和歌山県世界遺産センターまたは和歌山県観光振興課までお問い合わせ下さい。詳しい資料を送付させていただきます。
- ②プランニング**
人数、日程、場所や作業量等のご要望を伺いながら、担当者から行程を含めてプランをご提案いたします。
- ③事前PR**
作業内容確定後に報道機関への情報提供を行います。
- ④道普請実施**
該当市町の文化財担当者立ち会いのもと、和歌山県世界遺産センター職員による技術指導(必要に応じ事前学習)をいたします。
- ⑤事後PR**
実施内容を和歌山県世界遺産センターホームページへ掲載するとともに和歌山県世界遺産センター展示パネルにおいて紹介いたします。

●お問い合わせ／和歌山県世界遺産センター
〒647-1731 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1 TEL.0735-42-1044 FAX.0735-42-1560 <https://www.sekaiisan-wakayama.jp/>

●お問い合わせ／和歌山県観光振興課
〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1 TEL.073-441-2424 FAX.073-432-8313 <https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062400/>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています



その森づくりが
ゴールへ向けた
取組になります。

豊かな森づくり活動は、
2015(平成27)年に国連で採択された
「持続可能な開発目標(SDGs)」への貢献が可能です。

森づくり活動により貢献できるSDGs

- 3 健康増進等**
森づくり活動等による健康増進等
森林の癒し効果を活用した社員向けウェルネスプログラムの提供等
- 6 山地・森林等の水に関する生態系の保護、回復**
森づくり活動等による山地・森林等の水に関する生態系の保護、回復
森林を育てることにより、水資源の確保に寄与
- 8 持続可能な森林サービス産業の促進**
森づくり活動等による持続可能な森林サービス産業の促進
森林保全活動実施による地域経済の活性化
- 12 森林資源の維持管理・活用**
森づくり活動等による森林資源の維持管理・活用
育てた森林を利用することにより、持続可能な資源として活用
- 13 自然災害に対するレジリエンス、適応力の強化**
森づくり活動等による自然災害に対するレジリエンス、適応力の強化
手入れの行き届かない森林を保全し自然災害に強い森林をつくる
- 14 海洋及び沿岸の生態系に関する持続的な管理・保全**
森づくり活動等による海洋及び沿岸の生態系に関する持続的な管理・保全
海と密接な関係にある森林を育てる(森の養分を含んだ水が川から海に流れることによりプランクトンが多い豊かな海を育てる)
- 15 生態系の保全・回復、植林・森林再生の増加**
森づくり活動等による生態系の保全・回復、植林・森林再生の増加
樹木を植栽し守り育てることで森林を再生・回復させる